



OKADA REPORT



TOP MESSAGE

存在価値ある グローバル企業 を目指して

NEW TOPICS

- ・アメリカ最大の建機展「CONEXPO2023」に出展しました。
- ・北米での建機修理・販売・レンタル事業買収とオカダミッドウェスト新会社設立

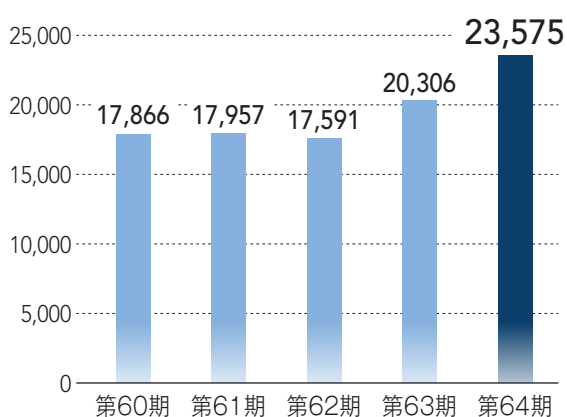
- ◆ 財務ハイライト
- ◆ セグメント別・品目別の概況
- ◆ 会社概要／株式情報
- ◆ 株主還元・配当政策

FINANCIAL HIGHLIGHTS

財務ハイライト

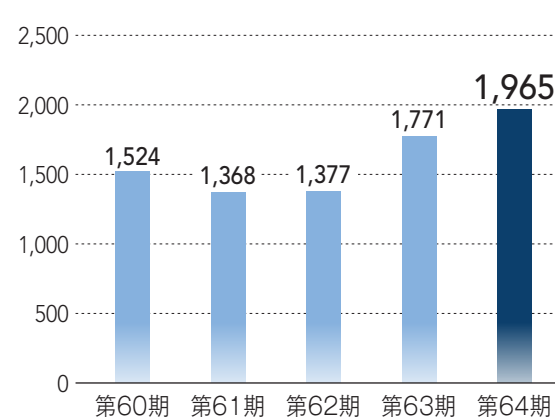
売上高

(単位：百万円)



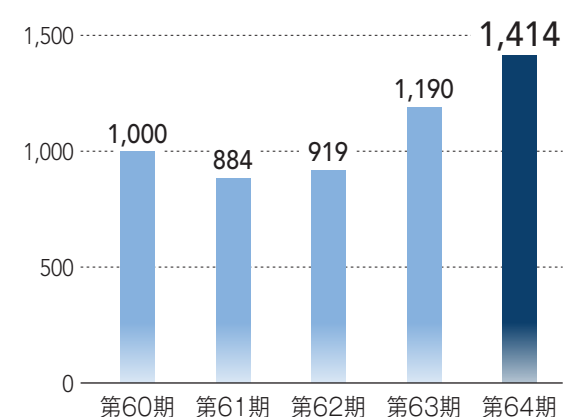
営業利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



存在価値ある グローバル企業を目指して



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社における第64期（2022年4月1日～2023年3月31日）の業績につきまして、ここにご報告いたします。

代表取締役社長 岡田祐司

Q この1年間を振り返っていかがでしたでしょうか。

A 新型コロナウイルス感染者数の減少や行動制限の緩和などにより、経済が回復基調となる一方で、地政学問題に端を発した、資源・エネルギー価格・海上運賃等の高騰や鋼材・部材不足、各国の金融政策の思惑による為替相場の乱高下等により、経営の舵取りの難しい1年となりました。

その中で当社グループは、2021年4月よりスタートした長期ビジョン“VISION30”の方針のもと、国内の堅調な解体・インフラ工事需要に対応した増産と生産性向上を軸にした生産体制強化を注力課題として取り組んでまいりました。また、当社の強みであるメンテナンス体制を更に強化するために、営業所（兼修理工場）を整備してまいりましたが、2022年度に、中部営業所の建替え、仙台営業所の移転新設、今年度5月に札幌営業所の移転新設と、計画どおりに整備・拡張が進んでおります。そして、開拓余力の大きな海外では、拠点展開している米国、欧州、アジアでの営業体制強化を図り、更なる持続的成長と、企業価値向上に注力してまいりました。

その結果、2年連続して過去最高売上・最高利益を更新することができました。目標と課題に真摯に取り組んでいただいたグループの役職員と、商材や部材等を提供していただいている協力会社の皆様には本当に感謝しております。

Q グローバル展開に関する取組状況をもう少し詳しく教えてください。

A 米国、欧州、アジアで拠点展開をしながら着実に体制を強化してきたことが奏功し、海外売上比率も着実に上がってきております。

当社の売上の約6割を占める主力地域の北米では、2022年12月に、中西部シカゴで建機メンテナンス・販売・レンタル事業を買収し運営会社としてオカダミッドウェストを設立しました。開拓が遅れていたシカゴ周辺の顧客獲得とともに、北米での修理メンテナンス体制を強化できるものと期待しています。また、今年度にはオカダアメリカ本社（ポートランド）の新社屋が完成する予定です。倉庫・修理メンテナンス機能を強化し、需要の増加に備えております。

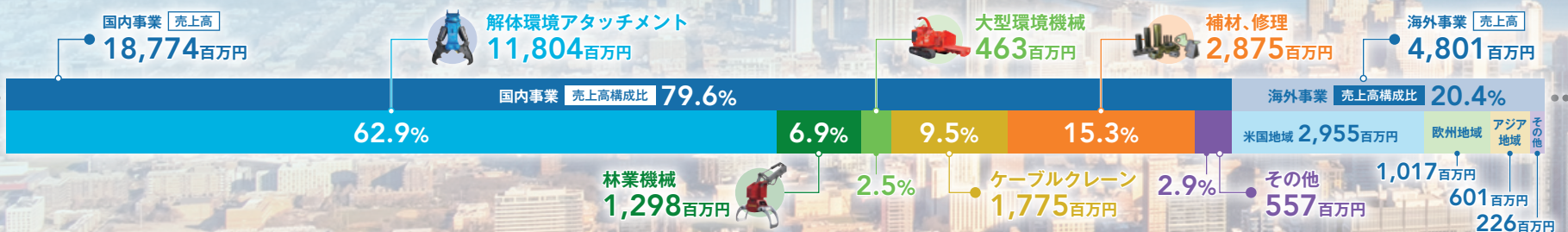
これまで殆ど未開拓だった世界最大市場の欧州では、駐在員事務所の設置後に、2020年にオランダに販売子会社を設立し開拓を進めております。現在では欧州31カ国に販売代理店を設定し順調に売上が伸びてきております。

生産面では、ベトナムで協力会社とともに油圧ブレーカの製造工場を立ち上げ中で、2024年頃からは日本品質で手頃な価格帯の商材の量産を開始し、世界共通モデルの戦略製品として日米欧で販売していく予定です。

グローバル市場の解体・インフラ需要は今後も安定的に伸びていくことが見込まれております。解体環境アタッチメント分野の日本のトップメーカーとして、品質とアフターサービスを重視したユーザー本位の製品提供に徹し、グローバルでの存在価値を更に高めていきたいと考えております。

OPERATING RESULTS

セグメント別・品目別の概況



POINT 国内セグメント

- ・売上高18,774百万円（前年同期比12.7%増）。昨年からの解体環境アタッチメントを中心に高水準の受注残を維持しており、増産や商材の確保に注力してきた結果、増収。
- ・セグメント利益は鋼材価格の上昇等による利益圧迫要因などがあったものの、売上の増加が寄与し、1,661百万円（前年同期比19.8%増）と増益。

解体環境アタッチメント

- ・解体環境アタッチメントを中心に高水準の受注残を維持しており、増産や商材の確保に注力してきた結果、売上高18,774百万円（前年同期比12.7%増）。
- ・主力の圧砕機は再開発やビル・工場等の建替等による解体需要が引き続き順調で売上高7,833百万円（前年同期比13.9%増）。
- ・つかみ機は金属スクラップ処理や木造解体、災害復興等の需要は引き続き堅調で受注残は抱えているものの、大型スクラップローダの納期ズレによる販売台数減の影響などもあり売上高1,305百万円（前年同期比4.2%減）。

林業機械・大型環境機械・ケーブルクレーン他

- ・林業機械は昨年後半に投入した新商品「ハイブリッドバケット」の販売が寄与し売上高1,298百万円（前年同期比52.4%増）。
- ・ケーブルクレーン事業は大型案件のダム工事売上が寄与したことや再生可能エネルギーとして見直されている水力発電所の改修工事が引き続き順調で売上高1,775百万円（前年同期比66.8%増）。
- ・輸入商材の大型環境機械に関しては、納期の長期化や円安進行による輸入価格上昇が影響し463百万円（前年同期比45.0%減）。

アフタービジネス

営業所リニューアルにより体制整備を図ってきたアフタービジネスについては、原材料売上高が1,887百万円（前年同期比9.1%増）、修理売上高は987百万円（前年同期比14.2%増）。

POINT 海外セグメント

- ・売上高4,801百万円（前年同期比31.7%増）。主力地域の北米では順調に経済活動が回復するとともに営業マンの育成などによる営業体制の整備が奏功し売上高2,955百万円（前年同期比36.9%増）。
- ・欧州は好調な市況の中で販売代理店網の充実が寄与し売上高1,017百万円（前年同期比41.7%増）。
- ・アジア地域は経済全般が好調な台湾向けが増加したこと等により売上高601百万円（前年同期比8.9%増）。
- ・セグメント利益は、一定の利益が見込める北米市場で売上を伸ばすことができ粗利は増加したものの、ほぼ年間を通じて海上運賃の値上げ影響を受けたことや、一過性要因のM&A関連手数料の費用処理、昨年のアメリカ子会社の「給与保護プログラム(PPP)」の利益下支え要因がなくなったこともあり326百万円（前年同期比22.1%減）と減益。

アメリカ最大の建機展 [CONEXPO2023]に出展しました。

3月14日～18日の5日間、アメリカのラスベガスにて開催された、世界最大規模の建設機械展示会の一つである[CONEXPO 2023]にオカダアメリカが出展いたしました。

出展社数は2,400社と非常に多くの企業が参加され、期間中の総来場者数は139,000名となりました。当社ブースではアメリカの主力製



品の油圧ブレーカを中心に展示し、多くのお客様へ製品のPRができました。

また、写真の様にアメリカで販売している破碎機は現場での補修が容易に実施できる様に交換プレート仕様になっており(替え刃式モデル)市場ニーズに合わ



せた商品開発を行っております。今後も海外事業拡大に向けて製品開発及び営業活動の強化を続けてまいります。

北米での建機修理・販売・レンタル事業買収とオカダミッドウェスト新会社設立

当社は、2022年12月に米国子会社であるOkada America, Inc. (本社：米国オレゴン州)が、Thoesen Tractor&Equipment Co., Inc. (以下TT&E社、米国イリノイ州)、Chicago Machinery Co. (米国イリノイ州)及びThoesen Tractor of Indiana, Inc. (米国イリノイ州)から事業譲受をいたしました。また当該事業譲受先として、3社が統合しOkada Midwest, Inc. (米国イリノイ州、Okada America, Inc.の100%子会社)を設立いたしました。

この統合の効果としましては、以下のとおりです。

北米における修理サービス体制の強化

当社は日本国内では、各営業拠点に修理工場を併設しており、自社修理サービス体制は当社の強みの一つとなっておりますが、海外事業においては、本格的な自社修理サービス体制の構築が課題となっております。TT&E社グループは修理サービス業務を中心にしており、本件は北米における修理サービス体制強化に繋がるものと考えております。

シカゴ地域を中心としたエンドユーザー向け商圏の獲得

米国中西部イリノイ州シカゴを中心とした地域は、老朽インフラ整備や解体・スクラップ・リサイクル需要としては肥沃なマーケットでありながら、オカダアメリカの市場開拓率は低く地域的な課題でしたが、本件によりTT&E社グループが有するエンドユーザー向けの商圏を獲得できることはメリットが大きいものと考えております。

TT&E社グループとオカダアメリカの双方の強みの補強によるシナジー効果

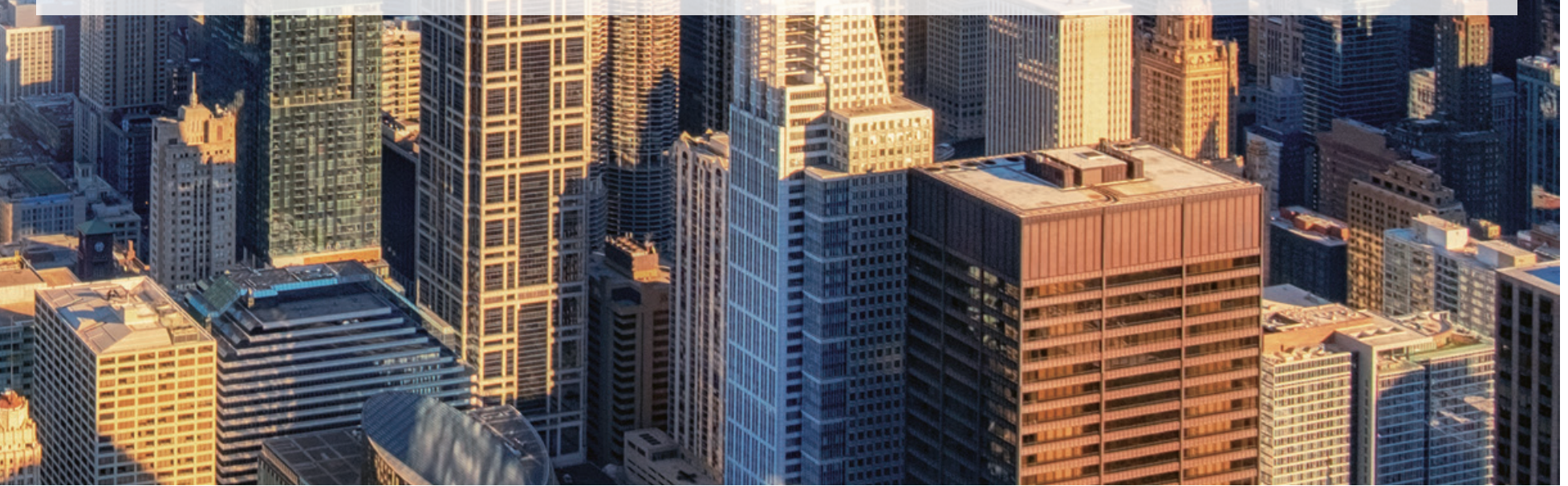
TT&E社グループにとってはオカダアメリカの傘下に入ることで営業強化による更なるユーザーの開拓・深耕が期待できます。またOkada America, Inc.にとっては、グループ傘下に修理サービス部隊

を保有することで、より高度な修理技術を必要とする圧碎機や破碎機等の販売強化が期待できます。このように将来に向けて、双方の強みを補強でき、シナジー効果が期待できるものと考えております。

これらを始めとするグローバル展開により、2021年4月からスタートした長期ビジョン「VISION30」において、海外売上高90億円(2023年3月期実績は48億円)、海外売上比率30.0%(2023年3月期実績は20.4%)を目標に掲げて取り組んでまいります。

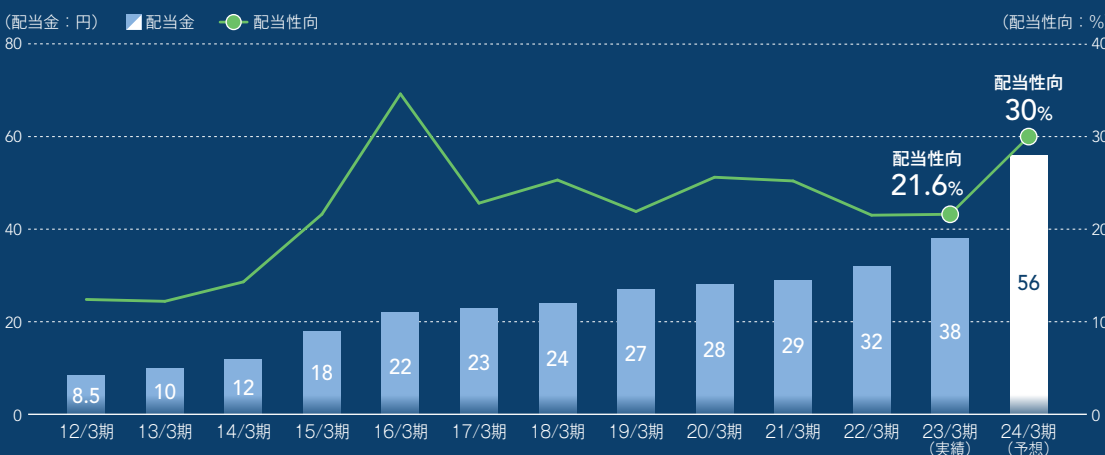


[Okada Midwest, Inc.]



IR情報 株主還元・配当政策

- ・ 昨年発表した増配スケジュールを3年前倒して、今期（2024/3月期）に配当性向30%となる年間56円配当（前年比+18円）を計画いたします。
- ・ 今後も事業安定成長のもと、累進的配当方針により増配を継続いたします。（今期で14年連続増配）



株主優待のご案内



オカダアイオン・プレミアム優待倶楽部

当社の株主優待制度は、保有株数に応じて贈呈するポイントをご使用いただき、インターネット上で5,000点を超える商品の中からお好みに合わせてお選びいただける制度です。

権利確定日 2023年3月31日
(400株以上保有する株主様対象)

詳しくは、当社ホームページをご覧ください。

CORPORATE PROFILE / STOCK INFORMATION

会社概要／株式情報

会社概要 (2023年3月31日現在)

商号 オカダアイオン株式会社
OKADA AIYON CORPORATION
本社 〒552-0022
大阪市港区海岸通四丁目1番18号
TEL. 06-6576-1281

設立年月日 1960年9月1日

資本金 2,221百万円

従業員数 213名

[主要な事業内容]

- ▶ 油圧プレーカ TOP、TOP-V、超低騒音TOP-S、TOP-J
- ▶ 圧砕機 TS-Wクラッシャー、TSRCクラッシャー
TS-Wカッター、TS-Sカッター
コワリクン、マグネットコワリクン、アイオン与作
- ▶ 大型環境機械 タブグラインダー、ウッドホグ、ログバスター
ビッグバス、プラント関連機器

[主要な営業所]

東京本店・関西支店・札幌営業所・盛岡営業所・仙台営業所
湘南営業所・中部営業所・北陸営業所・広島営業所
四国営業所・九州営業所・東京オフィス・海外事業所

[オカダアイオングループ]

株式会社アイオンテック・株式会社南星機械
Okada America, Inc.・Okada Midwest, Inc.
Okada Europe B.V.・Okada Aiyon (Thailand) Co.,Ltd.

株式情報 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数 20,000,000株
発行済株式の総数 8,378,700株 (自己株式354,947株を含む。)
株主数 6,941名

大株主[上位10名] (2023年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	534,300	6.65
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	506,300	6.31
岡田眞一郎	348,000	4.33
極東開発工業株式会社	300,000	3.73
株式会社三井住友銀行	242,930	3.02
株式会社三菱UFJ銀行	220,000	2.74
岡田町子	220,000	2.74
株式会社南星	200,000	2.49
株式会社テイサク	185,000	2.30
株式会社池崎鉄工所	180,100	2.24

(注) 1.当社は、自己株式を354,947株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2.持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	基準日	定時株主総会 毎年3月31日 (当社は中間配当制度を設けておりますが、現在は期末配当のみを行うこととしております。)
定時株主総会	毎年6月		剰余金の配当 毎年3月31日
単元株式数	100株		上記のほか必要と認めたときは、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
(電話照会先)	0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)		
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/		
公告の方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。アドレスは、https://www.aiyon.co.jp/		
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場		

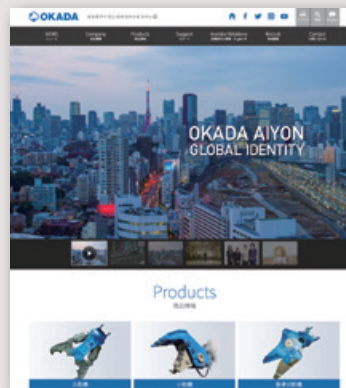


ホームページのご案内

<https://www.aiyon.co.jp/>

当社のホームページでは、株主・投資家の皆様へ企業情報、財務情報やサステナビリティ情報について、積極的に情報開示を行っております。

ぜひご覧ください。



こちらのQRコードからもアクセス!



※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

オカダアイオン株式会社

<https://www.aiyon.co.jp/>

